

赤ちゃんにやさしい病院認定にあたって

赤ちゃんの人生のスタート、新しい家族のスタートの支援を基本として

高知ファミリークリニック/高知市

院長 福永寿則

四国の高知市にあります高知ファミリークリニックの院長福永と申します。

当院は2006年1月17日開院し、今年がちょうど開院後10年目になります。その節目の年にスタッフの熱意・取組みにより、こうしてBFHの認定を受けるということ、大変うれしく思っています。

当院は開院当初から、妊娠中からの母性の確立・母と子の絆の形成を主眼としたソフロジー式分娩、新しい「家族」のスタートと一緒に迎える家族立合い分娩・家族同室、そして喜び多い育児につながる母乳育児などに取り組み、生まれ出た赤ちゃんの人生のスタート、赤ちゃんが加わった新しい家族のスタートの支援を基本方針として活動してまいりました。その方針が助産師、看護師のみならず、栄養士、事務職員など職員全体に浸透し、スタッフ自身が主体的に母乳育児推進委員会や育児サークル委員会などの活動を進めてまいりました。その活動内容や母乳率のデータなどは、高知県内や過去の母乳育児シンポジウムなどで発表させていただきました。

そのような当院の活動に対して「BFH認定」という評価をいただけたことは、職員の、自分が行っている仕事に対する自信、仕事をする喜び、そして今後の仕事に対する意欲をさらに高めるものと思います。

BFHの現地調査にお出で頂いた審査員の方から、当院の産後のお母さん方が明るく良い表情をしている、また職員自身も生き生きとした良い表情であることが印象的であるとの感想をいただきました。これは、院長としては、ある意味BFH認定以上にうれしいことです。

これからも、一産婦人科診療所である当院はその特色を示しつつ、地域の周産母子センター、総合病院、その他の産婦人科施設・小児科施設と連携し、安全な分娩、母子・その家族の幸せ、そして当院職員の働く喜びを追及していきます。このことが、自然とBFH認定施設としての責任、母乳育児推進の活動をする役割(BFHI)に至るものと考えています。